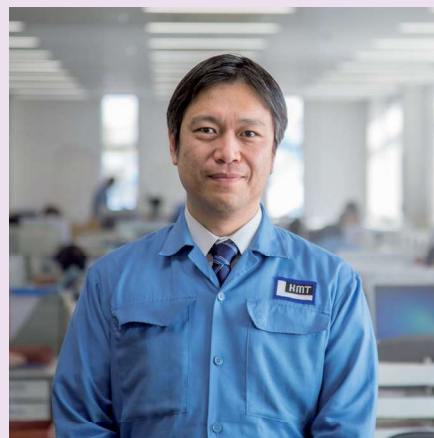


## フランスの国営研究機関と業務提携開始 地域産業や振動試験機メーカーと協力

素材が一定の基準を満たしているかどうかを、種々の観点から試験を実施して数値化し、解析や評価を行っている。1947年の創業以来、試験片加工、材料試験、化学分析と事業範囲を拡大し、現在は、総合的な受託試験・分析会社として、航空・宇宙、エネルギー、自動車、ライフサイエンス等日本の基幹産業を支援している。金属から複合材料まで幅広く対応できる、日本国内初の独立系民間試験場である。

- |          |   |        |         |
|----------|---|--------|---------|
| ● 所在地    | 兵庫県加古郡播磨町新島47-13  | ● 設立   | 1947年   |
| ● 電話/FAX | 079-435-5010/079-435-5335   | ● 資本金  | 5,000万円 |
| ● URL    | <a href="https://www.kmtl.co.jp/ja/">https://www.kmtl.co.jp/ja/</a> | ● 従業員数 | 392人    |
| ● 代表者    | 代表取締役社長 鶴井 昌徹   |        |         |



需要獲得

サービス

### フランスの国営研究機関であるCetimと業務提携

2017年にフランス国営研究機関Cetimと業務提携した。同社の東アジアにおける立地的優位性を生かし、試験業界のビジネスハブとして機能することを目指し、欧米企業との連携を一層強化している。

同社は、米ボーイングから試験の認証を受けており、仏エアバスと関係が深いCetimと提携することで、航空機二大メーカー関連の受注増加を見込んでいる。また、近年の海外売上高は、韓国の自動車メーカーや重工業向け等を中心に、急伸している。



Cetim本社Senlisにて

### 材料試験のトップカンパニーとして地域や産学の研究にも参画

同社は、神戸航空機産業クラスター(KAN)に特殊工程グループとして参加している。兵庫県下の中小企業20社と協力し、神戸に存在する重工業各社へ輸入航空部品の国産化をアピールする等、地域の航空機産業の発展に貢献している。

また、神戸大学・アシックス・バンドー化学等の地場の大学や企業とSIP(戦略的イノベーション創造プログラム)に参画、世界初のラバー用3Dプリンタのマシン研究開発チームのリーダーとして参加し、高い評価を受けている。



航空・宇宙関連にも対応可能な疲労試験機

### 「なぜその振動で壊れたのか？」 損傷調査業務を拡大

同社は、一級技能士をはじめとする国家資格取得者が多数在籍していることに加えて、試験所としての各種国際認定を保有している。これらにより、プライムメーカー認証試験は同社にしか提供できないサービスとなり、特命発注を多数受託している。

また、2018年10月より振動試験機メーカーのエミック株式会社との協業を開始し、振動試験後に破面解析等、同社が得意とする損傷調査を行い、なぜその振動で壊れたのかという顧客ニーズに答えることも可能となった。



一級技能士をはじめとする国家資格取得者